



一步を踏み出す



ラジオから、祖父と孫娘の会話が流れた。祖父「スマホをしながら歩くとは危ないぞ」。孫「小学校には、スマホをしながら歩いている『山ガールの銅像』があるよ」。祖父「あれは、峠を背負って本を読んでいる、二宮金次郎という偉い人の銅像だよ」と言っていた。

戦前の話になるが、私の小学生の頃は、どこの学校にも二宮金次郎の銅像があった。そして、銅像は「貧しくても忙しくても、勉強が大事だ。本を読め！」と教えている」と聞いた記憶がある。

最近、「二宮金次郎に学ぶ生き方」(致知出版社)という本に出会った。著者は、二宮金次郎の七代目の子孫にあたる中桐万里子さん。そこには、「祖母からよく聞かされた話」として、次のような一説があった。

「あの姿(銅像)で一番大切なのは、背負っている峠と、一步を踏み出している足なの。だからあの像はね、本を読むことも、理想を追求することも大事だけど、でも、どんなときでも行動することを忘れてはいけない。どんな状況でも一步を踏み出すことを忘れてはいけない、というメッセージなのよ」と。

私が二宮金次郎の銅像に出会って、七十年を経過しているが、いまにして、ようやくその真相を知ることができた。幼いころ遊んだカルタに「千里の道も一步から」というのがあった。「遠い旅路も、足元の第一歩から始まる。どんなに素晴らしいことも、ほんの小さなことの積み重ねで成就する」と聞かされた。

二宮金次郎像も、そのことを教えていたのだ。アメリカ人の友人にその話をした。

二宮金次郎の銅像の話

友人は、二宮金次郎像は知っていた。でも「一步踏み出す」ことの教えとは、知らなかったが、アメリカにも、次のような言葉があると教えてくれた。

「Put your best foot forward!」(あなたのベストを前に出せ)というのだそうである。

人間として前向きに生きる、また、物事に取り組んでよい結果を得るには、とにかく「一步を踏み出す」ことが大切なのだ。

それは、洋の東西を問わず、変わりのない教えでもある。祖父と孫娘とのスマホの会話から、大切なことに気づかせてもらった。

日本のお手玉の会理事 武田信之

*教育新聞社から、日本のお手玉の会の武田信之理事に執筆依頼があり、平成26年1月16日付の「教育新聞」1面コラム『円卓』に掲載されたものです。



ラジオから、祖父と孫娘の会話が流れた。祖父「スマホをしながら歩くとは危ないぞ」。孫「小学校には、スマホをしながら歩いている『山ガールの銅像』があるよ」。祖父「あれは、峠を背負って本を読んでいる、二宮金次郎という偉い人の銅像だよ」と言っていた。

戦前の話になるが、私の小学生の頃は、どこの学校にも二宮金次郎の銅像があった。そして、銅像は「貧しくても忙しくても、勉強が大事だ。本を読め！」と教えている」と聞いた記憶がある。

最近、「二宮金次郎に学ぶ生き方」(致知出版社)という本に出会った。著者は、二宮金次郎の七代目の子孫にあたる中桐万里子さん。そこには、「祖母からよく聞かされた話」として、次のような一説があった。

「あの姿(銅像)で一番大切なのは、背負っている峠と、一步を踏み出している足なの。だからあの像はね、本を読むことも、理想を追求することも大事だけど、でも、どんなときでも行動することを忘れてはいけない。どんな状況でも一步を踏み出すことを忘れてはいけない、というメッセージなのよ」と。

私が二宮金次郎の銅像に出会って、70年がいた、でも「一步踏み出す」ことの教えとは、知らなかったが、アメリカにも、次のような言葉があると教えてくれた。

「Put your best foot forward!」(あなたのベストを前に出せ)というのだそうである。

それは、洋の東西を問わず、変わりのない教えでもある。祖父と孫娘とのスマホの会話から、大切なことに気づかせてもらった。

どの学校にも二宮金次郎の銅像があった。そして、銅像は「貧しくても忙しくても、勉強が大事だ。本を読め！」と教えている」と聞いた記憶がある。

最近、「二宮金次郎に学ぶ生き方」(致知出版社)という本に出会った。著者は、二宮金次郎の七代目の子孫にあたる中桐万里子さん。そこには、「祖母からよく聞かされた話」として、次のような一説があった。

「あの姿(銅像)で一番大切なのは、背負っている峠と、一步を踏み出している足なの。だからあの像はね、本を読むことも、理想を追求することも大事だけど、でも、どんなときでも行動することを忘れてはいけない。どんな状況でも一步を踏み出すことを忘れてはいけない、というメッセージなのよ」と。

私が二宮金次郎の銅像に出会って、70年がいた、でも「一步踏み出す」ことの教えとは、知らなかったが、アメリカにも、次のような言葉があると教えてくれた。

「Put your best foot forward!」(あなたのベストを前に出せ)というのだそうである。

それは、洋の東西を問わず、変わりのない教えでもある。祖父と孫娘とのスマホの会話から、大切なことに気づかせてもらった。

一步を踏み出す

日本のお手玉の会理事 **武田 信之**